

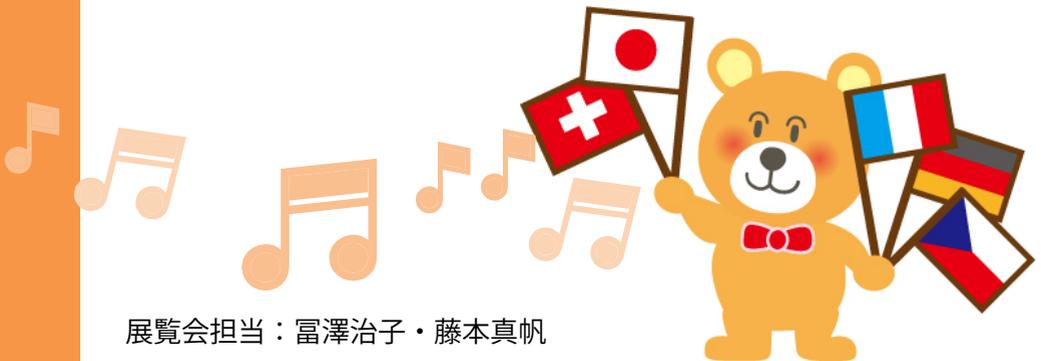
2月4日
～2月15日

ギム・ホンソック 《G5》 (2004)

1964 年ソウル生まれ。「ハッピー・ホーム-CAMK コレクション Vol.2」
(2005- 2006) 出品作家。

韓国人の歌い手が、韓国語でアメリカ、イギリス、フランス、ロシア、日本—G 8 構成国の**国歌**を歌う映像作品。黒いバックの中に立つ人物が、どこかで聞いたことがあるメロディーの歌を口ずさみ、歌が終わると、別の人物があらわれ、別の歌を歌い始めます。情感をこめて、ときに身振りさえ伴って、まるでお気に入りの歌のように歌っています。

私たちは国歌を歌うことで、ある国の国民であるという意識を共有し、高めます。国歌が国という枠組みをつくりあげるものであるとするならば、外国人に外国語で朗々と歌いあげられる国歌はどこか奇妙な存在です。だからこそ、私たちは考え始めます。「国歌」とはなんだろう、「国」とはなんだろう、「国」という枠組みを超えたところにあるものはなんだろう、と。《G5》は多くの問いを私たちになげかけてきます。



展覧会担当：富澤治子・藤本真帆